



No.73

令和6年4月23日発行

おい町

議会だより

Ohi Town Assembly Official Report

#未来に向けて



関連記事 P4~5, P20

Contents



議会だよりの
バックナンバーは
こちらから

特集	当初予算を可決 / 中学生議会を開催	2
臨時会議 / 定例会議	条例改正・補正予算などを審議	6
活動報告	所管事務調査 / 委員会研修視察	12
一般質問	「空き家対策について」など 4人登壇	15
追跡	なごみ診療所の施設活用について(ちょっと深掘り)	19

令和6年度 当初予算を可決!



台湾との交流の様子



海外派遣での授業風景

国際交流

●台湾交流事業 401万9千円

台湾新北市淡水区との友好交流を図るための事業を実施します。

- ・淡水区関係者を大火勢に招待し交流をします。
- ・台湾交流アドバイザー業務を委託し、通年で関係者との連絡調整や情報収集を行います。

●台湾新北市淡水区との友好交流都市覚書締結に係るインバウンド推進事業 422万5千円

台湾インバウンドの推進にむけた観光面からの取り組みを進めます。

- ・職員の育成のための現地視察
- ・観光協会の台湾観光交流情報発信事業への補助
- ・観光パンフレットの外国語版の増刷

問 台湾との交流にさまざまな事業の予算が計上されているが、どのように取り組んでいくのか。

答 基本的には覚書によって交流を促進し、より効果が出るよう検討を重ねながら順次取り組む。

●中学生海外派遣事業 1,433万4千円

ホームステイを通して国際交流を深め新感覚を持ったリーダーを養成するため、中学生をニュージーランドに派遣する。

問 台湾との交流が始まるなかで、派遣先は検討されたのか。

答 ホストファミリーの確保が困難であることから、ニュージーランドへの派遣とした。

子育て応援

●児童手当制度が拡充されます 1億3,747万8千円

家庭における生活の安定と次世代の社会を担う児童の健やかな成長のための制度が拡充されます。

- ・支給対象…高校生までに
- ・所得制限…無しに
- ・支払月…年6回(偶数月)に
- ・額拡充後の支給月額…

3歳未満 第1子、第2子：15,000円
第3子以降：30,000円

3歳～高校生 第1子、第2子：10,000円
第3子以降：30,000円

- ・支給開始月 令和6年12月

●進学サポート事業 4,112万円

就学意欲のある若者の未来を応援するため、国内の大学などに在学する者を扶養する保護者へ支援しています。

問 学生からアンケートの提出がない場合の対応は。

答 アンケートは必須であり、提出されない場合は給付金は支給しない。

●子供の遊び場整備事業 840万2千円

「さきやま会館」を児童館として充実させていくことにより、名田庄地域で不足する子どもの遊び場の整備を進めていきます。

- ・検討委員会の設置
- ・実施設計業務の委託

問 施設の改修による地域活動への支障はないか。

答 地域の利用状況からみて特に支障はない。



さきやま会館

前年度当初予算比

予算総額 156億1,143万円 12億2,387万円増

特集①



避難所で使用する
パーテーション

うち一般会計予算額
123億3,000万円

特集②

審議内容

活動報告

アンケート結果

一般質問

追跡

災害に強いまちづくり

●地域防災計画等の改定 1,700万円

国や県の定める関連法規と各種計画の改正に伴ない改定をします。

- 問 能登半島地震などによる上位計画の改定がなされた場合の対応は。
- 答 国の計画が改定されれば早急に対応が必要である。

●備蓄資材購入 600万円

避難所に必要な資材を計画的に整備します。

- ・パーテーション、簡易ベッド 各180張・台 (令和7年度までに900張・台を調達予定)

- 問 トイレや冬季対策としての寝袋は整備しないのか。
- 答 トイレは整備済である。また、冬季対策として毛布は整備しているが、寝袋は計画していない。

仕事を創生

●企業立地動向調査業務 496万円3千円

「しごとみらい産業団地」を全国の企業に広くPRする企業誘致活動の基礎資料として本町へのニーズを調査・把握し、より積極的な誘致活動につなげます。

- [効果]
 - 1 起業目線での立地ニーズやメリットがわかる
 - 2 PR動画を企業誘致ツールとして活用
 - 3 企業情報を分析し、訪問活動へ展開
- [調査件数] 5,000件

- 問 調査より企業訪問を優先するべきではないか。
- 答 調査を行うことで、より効果的な企業訪問が可能となる。

●起業促進支援事業 2,521万4千円

町内において創業を希望する者に、創業時の負担軽減のため、初期投資などに係る費用のうち2/3(上限500万円)を補助します。

討論

○反対 猿橋 巧議員

原子力関連収入が全体予算の61%であり、原子力財源依存は改めるべきである。県営事業に係る町負担率も大きく財政負担となっている。また、会計年度任用職員への対応が十分ではないことから反対する。

○賛成 高本和良議員

子育てにやさしい町としての施策や、企業誘致への新たな取り組み、災害に強いまちづくりのための避難時の資材備蓄など、国際交流事業はインバウンドの推進を掲げ、各分野の施策も次世代につながるまちの魅力を出しており、賛成する。



しごとみらい産業団地

を提案

2月27日

特集2

中学生議会

特集①

特集②

審議内容

活動報告

アンケート結果

一般質問

追跡

目的に開催するものです。
で考えた「町の活性化策」を堂々と発表

ると元気よく議員に対し総合的な学習で
してくれました。

されるよう取り組んでいきます。

名田庄活性化グループ

名田庄をオリジナルチラシでPR



議会コメント

地元をPRしたい思いが伝わる良い提案。
昨年開催した「名田庄トレイルラン」も
取り上げては。



- ・校外学習において京都市観光協会を訪問
- ・名田庄オリジナルチラシの作成を決定
- ・作成ポイントは、名田庄地域の独自性をアピール
- ・特産品「自然薯」を活用したクッキーやソバをPR
- ・星のフィエスタ、陰陽師と関係の深い土御門の紹介
- ・豊かな自然を代表する「野鹿の滝」を取り入れる
- ・南川沿いの桜並木と駄菓子屋の紹介

インスタ映え スポットづくりグループ

安倍晴明のお母さんの狐を イメージしたパネルを作成



- ・名田庄に来る観光客を増やし、
名田庄の魅力を知ってもらう
- ・若い人たちが、少しでも地元に
残ってほしい
- ・「羽や風船」を描いた黒板アート
の制作
- ・名田庄の空の美しさをPRする
「月のオブジェ」の制作
- ・パネル設置後は情報発信ツール
「SNS、インスタグラム」などで
発信



議会コメント

若者目線で町のPRを考えたところは良かった。
また来ようだけでなく、まずは行ってみたいも大切。
ハッシュタグ「#」の活用も検討しては。

※映えスポット…インターネット上
で人気の写真写りが良い場所

※ハッシュタグ…インターネット上
で興味のある文言に容易に検索で
きる仕組み

町の未来

特集①



名田庄中学校 2年生

中学生議会は、議会のことを中学生に知ってもらうことを今回は、名田庄中学校の2年生が、次代を担う10代の目線してくれました。

最初は初めての議場に戸惑ったようでしたが、発表が始ま生徒自らが見つけた課題へのさまざまな対応策を考えて提案
おい町議会では、提案された若者の思いが町政に反映

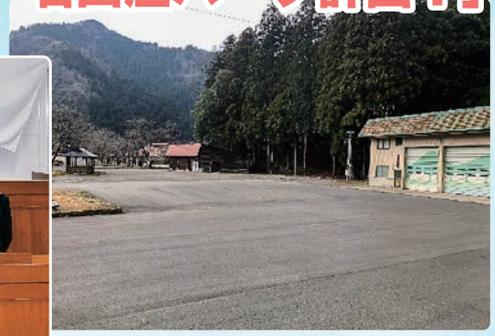
特集②

審議内容

- ・結論はバスケットコートをつくる
- ・子どもの遊びが固定化（ゲーム、川遊び）
- ・現状は少子高齢化が進んでいる。名田庄中学校の生徒数は、昭和36年319人、令和5年51人
- ・課題は、遊ぶ人が減って、遊ぶ場所が少ないこと
- ・バスケットコートの選択理由は「低コスト」「誰でも気軽に遊べてけがをしにくい」
- ・大人も体を動かし健康な体づくりにつながる
- ・近隣からも人が集まり、地域の活性化につながる

名田庄活性化グループ

旧あきない館跡地の有効活用 「名田庄パーク計画！」



議会コメント

遊び場が少ないと言った現状を把握した中で、あきない館跡地の有効活用の提案は良かった。

活動報告

アンケート結果

新商品開発グループ

特産品「自然薯」を活用した ドーナツの商品化



- ・自然薯の調理方法をあまり知らなかった
- ・自然薯を使ったドーナツの開発に着手
- ・自然薯の下処理に苦戦
- ・第1回試作調理：油っこく形がリング状にならない
- ・第2回試作調理：油っこさはなくなったが硬くなる
- ・第3回試作調理：生地水分を調整し成功
- ・課題は、時間が経つと外側が固くなったことや、自然薯感があまり感じられない

議会コメント

町の特産品「自然薯」に着目した点がよかった。
大手ドーナツ会社に対抗できる自然薯ドーナツに期待する。

一般質問

追跡

令和6年1月臨時会議 議案審議結果

議案番号	件名	審議・付託	議決結果	参照先
議案第1号	令和5年度一般会計補正予算（第7号）	—	原案可決	P7

令和6年3月定例会議 議案審議結果

議案番号	件名	審議・付託	議決結果	参照先	
報告第1号	専決処分の承認を求めることについて（工事請負変更契約の締結について（トンネル照明設備更新工事（本郷トンネル））	—	承認	P7	
議案第2号	産業育成基金条例の廃止について	〈産建〉	原案可決	P7	
議案第3号	令和5年度一般会計補正予算（第8号）	〈予算〉	原案可決	P7～P8	
議案第4号	令和5年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）		原案可決		
議案第5号	令和5年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）		原案可決		
議案第6号	令和5年度国民健康保険診療事業特別会計補正予算（第3号）		原案可決		
議案第7号	令和5年度介護保健事業特別会計補正予算（第3号）		原案可決		
議案第8号	令和5年度介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決		
議案第9号	令和5年度簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）		原案可決		
議案第10号	令和5年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）		原案可決		
議案第11号	令和5年度特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）		原案可決		
議案第12号	手数料徴収条例の一部改正について		〈総務〉	原案可決	P8
議案第13号	一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について			原案可決	
議案第14号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	原案可決			
議案第15号	国民健康保険税条例の一部改正について	〈産建〉	原案可決	P9	
議案第16号	庁会館の設置及び管理に関する条例の一部改正について		原案可決		
議案第17号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	〈総務〉	原案可決	P7	
議案第18号	介護保険条例の一部改正について	〈産建〉	原案可決		
議案第19号	漁港管理条例の一部改正について	〈総務〉	原案可決		
議案第20号	企業振興条例の一部改正について	〈予算〉	原案可決	P10	
議案第21号	名田庄岩の鼻遺跡館の設置及び管理に関する条例の廃止について		原案可決		
議案第22号	令和6年度一般会計予算		原案可決		
議案第23号	令和6年度後期高齢者医療事業特別会計予算		原案可決		
議案第24号	令和6年度国民健康保険事業特別会計予算		原案可決		
議案第25号	令和6年度国民健康保険診療事業特別会計予算		原案可決		
議案第26号	令和6年度介護保険事業特別会計予算		原案可決		
議案第27号	令和6年度介護サービス事業特別会計予算		原案可決		
議案第28号	令和6年度簡易水道事業会計予算		原案可決		
議案第29号	令和6年度下水道事業会計予算		原案可決		
議案第30号	工事請負契約の締結について（里山文化交流センター空調設備更新工事）	〈総務〉	原案可決	P11	
議案第31号	町道路線の廃止について	〈産建〉	原案可決		
議案第32号	町道路線の認定について		原案可決		
議案第33号	小浜市とおおい町との廃棄物（可燃物）の処理に関する事務の事務委託に関する規約の廃止について	〈総務〉	原案可決	P8	
議案第34号	おおい町と高浜町との廃棄物（可燃物）の処理に関する事務の事務委託に関する規約の廃止について		原案可決		
議案第35号	令和5年度一般会計補正予算（第9号）	—	原案可決	P8	
陳情第1号	保育士配置の最低基準の引き上げと、保育予算の大幅な増額を求める意見書の採択を求める陳情	〈総務〉	趣旨採択	P11	
発委第1号	議会委員会条例の一部改正について	—	原案可決	P9	
発委第2号	議会会議規則の一部改正について	—	原案可決	P10	
—	議員派遣報告および議員派遣	—	報告および派遣		

賛否が分かれた議案

	寺井	高本	中西	屋敷	田中	堤	細川	原田	辻	尾谷	猿橋 ^啓	今川	猿橋 ^巧
議案第3号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	●
議案第5号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	●
議案第12号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	●
議案第15号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	●
議案第22号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	●
議案第23号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	●
議案第24号	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	●

○は賛成、●は反対、除は除斥、退は退席、欠は欠席（細川議長は採決に加わらない）

特集①

1月臨時会議
令和6年1月22日

■審議内容

1月臨時会議に付議された、議案1件を審査した。

■議案審議

補正予算を可決

●議案1号

令和5年度おおい町一般会計補正予算(第7号)

6107万7千円増額

【主な歳出内容】

○価格高騰緊急支援給付金給付事業
1986万1千円増額

○商工管理事業

3月末までに生活応援拡大キャンペーンとして町民ひとりあたり5000ポイントを配布するもの。
4121万6千円増額

【全会一致・可決】

特集②

3月定例会議
令和6年2月28日～3月21日

■審議内容

3月定例会議に付議された、報告1件、議案34件、陳情1件、発議2件を審査した。

■議案審議

報告事項を承認

●報告1号

専決処分報告について(工事請負変更契約の締結について(トンネル照明設備更新工事(本郷トンネル))

【主な変更内容】

・小学校の通路路となっている箇所に交通指導員を追加で配置し、児童の安全を確保するもの。

【全会一致・承認】

審議内容

条例の廃止を承認

●議案2号(産建)

おおい町産業育成基金条例の廃止について

産業の育成にあたり、事業の立ち上げおよびその活性化に必要な資金の貸し付けを行うものであるが、新たな貸し付けが今後ないことから、令和6年4月1日をもって当該基金条例を廃止するもの。

【主な質疑】

問 この基金に代わる町の事業は。

答 おおい町中小企業振興資金融資や起業促進支援事業などにより、支援を行っている。

【全会一致・可決】

活動報告

●議案21号(総務)

おおい町名田庄岩の鼻遺跡館の設置及び管理に関する条例の廃止について
令和4年9月末をもって閉館したことから、当該条例を廃止するもの。

【主な質疑】

問 岩の鼻遺跡の展示物はどこに設置するのか。

答 現在、郷土史料館にて保存しており、定期的に展示をしている。

【全会一致・可決】



岩の鼻遺跡出土品展示の様子

アンケート結果

補正予算を可決

●議案3号(予算)

令和5年度おおい町一般会計補正予算(第8号)
6億3415万5千円増額

【主な歳出内容】

○財政調整・減債基金利息等積立事業
8億7626万8千円増額

○予防事業費国庫補助金等精算事務
874万4千円増額

○保健・医療・福祉総合施設医療設備等整備基金積立事業
1056万円増額

○除雪対策事業

2287万4千円増額



一般質問

○防災対策事業

1210万2千円増額

○頭布山青少年旅行村管理運営事業
573万6千円減額

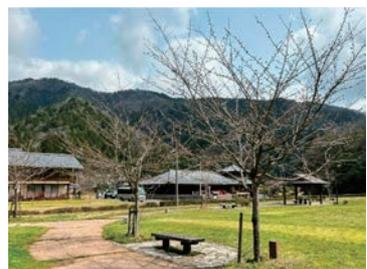
○小学校管理事業
916万6千円増額

○中学校校舎等改修事業
272万4千円増額

【主な質疑】

問 頭巾山青少年旅行村再整備基本計画の国の補助事業が不採択となったが今後の取り組みは。

答 財源の確保を含めて継続的に検討する。



頭巾山青少年旅行村

追跡

問 財政調整基金の積立金を区長要望などへの対応に活用できないか。

答 要望には配慮しているが、町として中長期を見据えた財政需要への対応をしている。

問 デジタル教科書の購入額の増加理由は。

答 当初は4教科のみであったが、11教科対応となったため。

討論

反対 猿橋 巧議員

戸籍住民基本台帳事務におけるシステム改修事業はプライバシー流出の懸念から反対する。

【賛成多数・可決】

●議案4号〈予算〉

令和5年度おおい町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)

331万6千円減額

【全会一致・可決】

●議案5号〈予算〉

令和5年度おおい町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)

3751万6千円減額

【賛成多数・可決】

●議案6号〈予算〉

令和5年度おおい町国民健康保険診療事業特別会計補正予算(第3号)

882万8千円減額

【全会一致・可決】

●議案7号〈予算〉

令和5年度おおい町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)

1595万4千円減額

【全会一致・可決】

●議案8号〈予算〉

令和5年度おおい町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)

15万8千円減額

【全会一致・可決】

●議案9号〈予算〉

令和5年度おおい町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

1110万9千円減額

【全会一致・可決】

●議案10号〈予算〉

令和5年度おおい町農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)

2156万円減額

【全会一致・可決】

●議案11号〈予算〉

令和5年度おおい町特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

450万8千円減額

【全会一致・可決】

●議案35号

令和5年度おおい町一般会計補正予算(第9号)繰越明許費の追加のみ

【全会一致・可決】

条例改正を可決

●議案12号〈総務〉

おおい町手数料徴収条例の一部改正について

戸籍法の一部改正に伴う地方公共団体の手数料の標準に関する政令の一部改正に準じて、所要の改正を行うもの。

主な質疑

問 今回の戸籍法一部改正に伴う手数料は、全国一律か。市町で違うのか。

答

地方自治法の戸籍手数料は政令で定めなければならないこととしており、今回改正の手数料については全国一律である。

【賛成多数・可決】

●議案13号〈総務〉

おおい町一般職の職員の給与に関する条例の一部改正について

人事院の給与勧告などに基つき、国家公務員の給与と改定に準じて、職員手当に在宅勤務等手当を新設するもの。

主な質疑

問 新設される在宅勤務等手当が該当となるのは、どのような業務か。

答

基本的にはどの仕事でも在宅勤務を想定した規定となっている。

【全会一致・可決】

●議案14号〈総務〉

おおい町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について

地方自治法の改正及び人事院の給与勧告等に基つき、一般職の職員の給料表の改定に準じた給料表の改定、並びに、職員手当に勤勉手当および在宅勤務等手当を新設するもの。

主な質疑

問 勤勉手当の支給については勤務評定がされるのか。

答

一般職と同様に勤務成績評定を導入する予定である。

【全会一致・可決】

特集①

特集②

審議内容

活動報告

アンケート結果

一般質問

追跡

●議案15号〈総務〉

お問い合わせ国民健康保険税条例の一部改正について

福井県が示す国民健康保険税の標準保険料率を参考として、被保険者の負担が急増しないよう、段階的にその標準保険料率に近づけるため、税率を改めるもの。

【全会一致・可決】

●議案16号〈総務〉

お問い合わせ庁舎館の設置及び管理に関する条例の一部改正について

庁舎館の職員について、学芸員の資格を持った正規職員の確保など、適切な職員を配置し管理運営を行うことから、所要の改正を行うもの。

主な質疑

問 学芸員資格者採用の見込みは。

答

現在、学芸員資格を持つ一般職の職員が4名おり、今後一定の期間、安定して学芸員資格を持った職員が職務に当たることが可能と見込んでいます。

【全会一致・可決】

●議案17号〈総務〉

お問い合わせ特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について

母体保護法施行規則等の一部を改正する内閣府令の施行による特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。

主な質疑

問 フロップीडィスク媒体は現在でも使用しているのか。

答

現在はフロッピーディスクが使用できない機器となつている。今回の改正で特定の記録媒体表現をなくし、電気磁気媒体という表現に改める。

【全会一致・可決】

●議案18号〈総務〉

お問い合わせ介護保険条例の一部改正について

・保険料基準額を現行の月額6200円から月額5800円に改定するもの。
・国の基準に従い、保険料段階を9段階から13段階へ多段階化するとともに、高所得者の標準乗率を引き上げ、低所得者の標準乗率の引き下げを行うもの。

主な質疑

問 介護保険料金が下がった理由は。

答

介護給付準備基金の残高を考慮し、被保険者の負担を軽減する目的で保険料を下げた。

【全会一致・可決】

●議案19号〈産建〉

お問い合わせ漁港管理条例の一部改正について

漁港漁場整備法及び水産業協同組合法の一部を改正する法律が令和6年4月1日に施行されることに伴い、所要の改正を行うもの。

主な質疑

問 占用料の徴収に関する規定が追加されるが、占用料の徴収が発生する具体的な内容は。漁港施設内において水産物の販売や料理などの提供を行う事業や、その漁港施設内で遊漁、漁港体験活動、海洋・環境に関する体験活動などを新たに創設された活用事業を行う場合に、占用料を徴収することとなる。

【全会一致・可決】

●議案20号〈産建〉

お問い合わせ企業振興条例の一部改正について

「統計法第二十八条の規定に基づき、統計基準として日本標準産業分類を定める件」が告示され、令和6年4月1日から施行されることに伴い所要の改正を行うもの。

主な質疑

問 今回の改正内容で、「工場又は店舗」を「工場等」と言う文言に改正されているが、対象が広く捉えられるように感じる。「工場等」の言い回しに想定される具体的なものは。

答

対象業種区分にも規定されている本社機能、いわゆる対象企業の企画情報処理、研究開発、総務、経理などを行う事務所や研究所、研修所なども想定したものである。

【全会一致・可決】

●発委1号

お問い合わせ議会委員会条例の一部改正について

【提案理由】

令和5年4月に地方自治法の一部が改正され、地方議会に係る手続きのオンライン化が可能となったことから、公述人の申し出や代理人又は文書による意見の陳述をオンラインによる方法で行う場合や、委員会の会議の記録などについて改正するもの。

【全会一致・可決】

●発委2号

おおい町議会会議規則の一部改正について

令和5年4月に地方自治法の一部が改正され、地方議会に係る手続きのオンライン化が可能となったことから、文書などにより提出が求められている請願や意見書など、また委員会報告書など文書によることが求められている手続きについて、会議規則に規定することによりオンライン化が可能となることから改正をするもの。

【全会一致・可決】

当初予算を可決

●議案22号〈予算〉

令和6年度おおい町一般会計予算

123億3000万円

【賛成多数・可決】

●議案23号〈予算〉

令和6年度おおい町後期高齢者医療事業特別会計予算

1億2090万7千円

【全会一致・可決】

●議案24号〈予算〉

令和6年度おおい町国民健康保険事業特別会計予算

9億2054万4千円

【賛成多数・可決】

●議案25号〈予算〉

令和6年度おおい町国民健康保険診療事業特別会計予算

1億537万9千円

【全会一致・可決】

●議案26号〈予算〉

令和6年度おおい町介護保健事業特別会計予算

9億5323万9千円

【全会一致・可決】

●議案27号〈予算〉

令和6年度おおい町介護サービス事業特別会計予算

755万1千円

【全会一致・可決】

●議案28号〈予算〉

令和6年度おおい町簡易水道事業会計予算

3億832万5千円

●収益的収入

3億832万5千円

●収益的支出

3億832万5千円

●資本的収入

8098万1千円

●資本的支出

9272万9千円

【全会一致・可決】

●議案29号〈予算〉

令和6年度おおい町下水道事業会計予算

4億8758万3千円

●収益的収入

4億8758万3千円

●収益的支出

4億8758万3千円

●資本的収入

2億7496万7千円

●資本的支出

2億9517万9千円

【全会一致・可決】

※本年度より簡易水道事業と下水道事業は企業会計として計上しています。

○簡易水道事業特別会計

○簡易水道事業会計

○農業集落排水事業特別会計

○特定環境保全公共下水道事業特別会計

○下水道事業会計

※当初予算にかかる主な事業や質疑については23ページ(特集ページ①)に掲載しております。

工事請負契約を可決

●議案30号〈総務〉

工事請負契約の締結について(里山文化交流センター空調設備更新工事) 里山文化交流センターの空調設備更新工事を行うも。

・契約金額

1億1316万6千8百円

・契約の相手方

株式会社 こんどう

主な質疑

問 空調機器の更新により電気代などの効率化が見込めるのか。

答 当初設置されたものと比較すると、約30〜40%性能がアップしているため、電気代などの節電効率化も計られている。

問

工事時期は10月から11月となっておりますが、地区の文化祭の時期と重なるが、支障はないか。

答

工事期間については、空調機器が不要で影響の少ない10月から11月の時期に10日程度で行えるよう設定している。

【全会一致・可決】

町道路線の廃止と認定を可決

●議案31号〈産建〉

町道路線の廃止について
道路台帳の電子化に伴う町道路線の見直しにより、廃止するもの。

主な質疑

問 町道628路線のうち、台帳上道路になつていた5路線は、なぜ現況がなしとして廃止となつたのか。

答 航空写真上で明らかに町道として機能していないような箇所を抽出して現地確認したところ、隣地の田畑や宅地などと一体化しており、登記上においても道路となっていないため、町道としての機能を有しているとは認められないことから、廃止することとした。

【全会一致・可決】

●議案32号〈産建〉 町道路線の認定について

道路台帳の電子化に伴い、新たに12路線追加して計635路線を認定するもの。

主な質疑

問 認定した町道の所有者は、登記上おおい町ということなのか。

答 町管理の道路だと所有者はおおい町であるが、現在、全ての町道が町として登記されているわけではなく、一部、当時の経緯などで登記がなされていない路線もある。

【全会一致・可決】

規約の廃止を可決

●議案33号〈産建〉

小浜市とおおい町との廃棄物(可燃物)の処理に関する事務の事務委託に関する規約の廃止について

主な質疑

問 小浜市のクリーンセンターの解体に係る費用については、建物が現存するなかで、今回この規約を廃止すると、解体費用の負担はどのようになるのか。

答 本規約廃止後においてはこれまでと同様に費用負担することを記した覚書を締結する予定である。その締結によつて、施設解体費などの負担をおおい町がするものである。

【全会一致・可決】

●議案34号〈産建〉

おおい町と高浜町との廃棄物(可燃物)の処理に関する事務の事務委託に関する規約の廃止について

高浜町に建設された広域ごみ焼却施設の供用開始により、大飯清掃センターの稼働を終了したこ

とに伴い、地方自治法第252条の14第2項の規定により、規約を廃止することについて、同法第252条の2の2第3項の規定により、議会の議決を求めるもの。

【全会一致・可決】

陳情を趣旨採択

陳情1号

保育士配置の最低基準の引き上げと、保育予算の大幅な増額を求める意見書の採択を求める陳情

日本の保育所の職員配置の最低基準は75年間一度も見直しをされておらず、低い基準は厳しい労働条件に直結し、子どもが亡くなる痛ましい事故や保育士による事件の遠因となっている。劣悪な保育士配置基準を引き上げるためにも、保育予算の大幅な増額が必要であ

り、保育士配置の最低基準の引き上げと保育予算の大幅な増額を求める意見書を政府関係機関に対し提出を求めるもの。

【全会一致・趣旨採択】

※12ページ(総務常任委員会所管事務調査ページ)に関連記事あり。

※趣旨採択とは…
請願や陳情に対する議会の意思決定は、基本的には「採択」「不採択」の2種類ですが、議会として願意は十分に理解できるが採択とすることに問題があると考える場合等に「趣旨には賛同である」という意味で「趣旨採択」とすることがあります。

特集①

特集②

審議内容

活動報告

アンケート結果

一般質問

追跡

おおい町の保育の現状と課題は

総務常任委員会

陳情第1号審査
所管事務調査

令和5年9月定例会議において総務常任委員会に審査が付託された陳情第1号「保育士配置の最低基準の引き上げと、保育予算の大幅な増額を求める意見書の採択を求める陳情」については、「子育て応援日本一」を掲げる町として、所管事務調査項目として課題調査や情報収集を行うために継続審査としたものです。

子育て施策については、国における「こども家庭庁」の創設など、子育て環境の転換期であることから、まず国の施策の方向性を確認し、また、議員個々の情報収集や調査以外にも本町の現状を把握するため、町の保育行政担当から、町内の保育環境や保育現場の状況、保育士確保等の課題について所管事務調査を行いました。

委員会では、陳情の審査にあたり、国において、子ども子育ての新たな制度や支援が創設され、既に予算にも反映されている

- ・今後の国による対応を見るべき
- ・おおい町内の保育園・こども園では、保育士基準以外にも資格外の職員がサポートにあたり保育環境を十分に整えている状況である
- ・配置基準の拡大は保育士の採用に関係し、人員の確保や保育定員に影響しかねない

などの意見がありました。

委員会において、陳情の取り扱いを審査した結果、子ども子育て環境の充実について陳情の趣旨は理解するが、町としては独自に環境整備に努めており、配置基準に対する意見を提出することは町の状況にそぐわない可能性もあることから、趣旨採択とすべきものと決定しました。

※P11に関連記事あり。

乾式貯蔵施設設置計画は

原子力発電対策特別委員会

【開催日】令和6年2月27日

【開催場所】全員協議会室

【協議事項】

大飯発電所における使用済み燃料乾式貯蔵施設設置計画の事前了解願について、関西電力株式会社より以下のとおり説明を受けました。

○大飯発電所において、使用済み燃料乾式貯蔵施設設置計画を決定し、おおい町および福井県との安全協定に基づき、使用済み燃料乾式貯蔵施設設置計画に係る事前了解願を提出した。

○使用済み燃料の貯蔵容量を増やさない観点から、使用済み燃料を乾式貯蔵施設に移し替えることで空いた貯蔵プールのスペースは原則使わない。

○乾式貯蔵施設に保管する使用済み燃料は、2030年頃の中間貯蔵施設設置後、順次速やかに中間貯蔵施設へ搬出する。

○今後、乾式貯蔵施設の必要性や安全性などについて、丁寧に説明する。

【目的】

使用済み燃料の中間貯蔵施設へのより円滑な搬出、さらに搬出までの間、電源を使用せずに安全性の高い方式で保

管できるよう、発電所からの将来の搬出に備えて、大飯発電所構内に使用済み燃料乾式貯蔵施設を設置する。

【使用済み燃料の貯蔵方式】

「個別格納方式」・輸送・貯蔵兼用キャスクに衝撃吸収力バーを取り付け、横向き状態で架台に載せ、基礎などに固定しない方法を採用。

・発電所敷地境界外での放射線量を低減するため、遮へい用の鉄筋コンクリート製の格納設備をキャスクごとに設置。敷地境界外における空間線量率は、原子炉施設本体などからの線量を含めても目標値である年間50マイクロシーベルトを十分下回る。

・この方式は、乾式貯蔵に係る規制が見直され、安全性が確保されたさまざまな貯蔵方式に対応したことを受けたもの。

大飯発電所での施設の容量は、最大23基、約250t、設置位置は2カ所、工期は2025年から2030年頃となる。

台湾との友好交流協定締結先進地の状況 ・廃校を活用した養殖施設を視察

産業建設常任委員会視察研修

【期日】

令和6年2月14日(水)～15日(木)

【場所】

香川県仲多度郡琴平町役場

香川県東かがわ市(株)CAVIC

【参加者】

委員 7名

産業建設常任委員会では、昨年7月に本町が台湾新北市淡水区との友好交流都市覚書の締結をしたことから、今後において有益なものとなるよう、台湾との友好都市交流の先進地である琴平町議会に行政視察を行いました。また、廃校を活用した一次産業の取り組みについても視察をしました。

香川県琴平町

琴平町は、人口約8200人と本町と同規模である。金比羅山をはじめとする全国に名が知れている観光資源があり、主な産業となっている。平成29年1月には、交流事業の

取り組みに先立ち、台湾新北市瑞芳中学校との姉妹校協定を締結。その後平成30年5月に、台湾新北市瑞芳区と友好交流協定を締結。姉妹校協定、友好都市協定の2つの締結により、行政のみならず、小・中学校、観光協会、商工会、農業団体など、さまざまな分野で交流が先進的に取り組まれている。

① 姉妹校事業

琴平中学校、瑞芳中学校の双方の生徒が、毎年(コロナ禍を除き)交互にホームステイを通じて交流事業を行っている。



② 友好都市交流事業

台湾でも有名な観光地である、九份にて琴平町物産展を開



催(コロナ禍を除く年度で3回実施済み)し、琴平町の観光PRを行っている。

③ 地域おこし協力隊

台湾から2名の隊員を町に配置して、行政業務のみでなく、学校、民間での事業の推進にも活躍している。



国際交流について、町職員だけでなく、議会、住民を含めしっかりと理解の促進がされていた。それぞれの協定の締結から事業の開始まで、間髪入れず同じ年に始まり、継続されており、国際交流についての本気度を感じられた。本町の協定締結から半年以上が経過したが、早急な事業や交流が開始でき、有益なものになるよう議会としても推進していきます。

株式会社CAVIC

代表取締役の板坂社長自身が通った引田中学校が廃校となったことで、朽ち果てさせてしまおうのではない、新規事業で地域活性ができないかと起業を決意。学校施設のさまざま

まな既存物を活用し、事業を行っている。

- ・グラウンド↓太陽光発電事業
- ・職員室↓事務所
- ・校長室↓社長室
- ・図書室↓会議室
- ・理科室↓加工調理室
- ・テニスコート↓キャンプ場
- ・体育館↓チョウザメの養殖場



体育館でチョウザメの養殖

地元で生まれ育った方の熱い想いにより、廃校となった中学校が有効に活用されている。収益が生まれるまで7年以上かかることされているチョウザメの養殖では、採卵から加工販売で少しずつ軌道に乗り出したところである。



廃校をリノベーションした事業のひとつの成功例だと感じました。

特集①

特集②

審議内容

活動報告

アンケート結果

一般質問

追跡

「議会だより」アンケート調査結果を報告します

議会だより第72号で今後の議会の広報広聴活動に生かすためにアンケートを実施しました。書面での回答が52人、QRコードからの回答が10人、合計62人の方から回答をいただきました。その結果は次のとおりです。(抜粋)

注目する記事は…

- ①一般質問 ②審議結果 ③活動報告 ④あれからどうなったの
(前回：①一般質問 ②審議結果 ③あれからどうなった ④輝く人)

前回アンケートに比べて、委員会の活動報告に関心のある方が増えています。

「議会だより」への要望は…

- ①町民の顔や主張を増やす ②情報量を増やす ③特集を増やす
④その他のご意見から

・インターネット上でも「議会だより」を読めるようにしてほしい
⇒おおい町のホームページで「議会だより」をご覧いただけます
QRコードを読み取りサイトにお進みください



「議会だよりモニター制度」について

- ・制度の内容を知らない 24人 ・内容を知っている 5人
・機会があればしてみたい 3人

おおい町議会では、議会の見える化・住民に信頼される議会を目指し、皆さんの声を議会だよりに生かすために、議会だよりの評価や分析、編集についての意見をいただく「議会だよりモニター」の設置を検討しています。

*その他「議会だより」へのご意見 (抜粋)

- ・文章が多い。多忙な方は詰めて書かれているところは飛ばして読まれているのではないかと思います。読みやすい工夫はないですか。
- ・輝く人は一番好きなページです。
- ・毎回「議会だより」を楽しみにしている町民の一人ですが、もう少し内容が濃くなれば更に良くなるかと思う。
- ・定例会議、審査内容をもう少し詳しく説明していただけると嬉しいです。
- ・あまり盛りだくさんにしないで。

アンケート調査に協力いただきありがとうございました。

この結果をふまえ、輝く人など町民との接点を増やし、議会に対する関心が高まるような議会の見える化への企画に取り組みます。

紙面の都合上、すべてのご意見を掲載していませんが、それぞれを参考に今後も紙面の充実に努めていきます。



町政こころが聞きたい!

3月定例会議では、4人の議員が一般質問を行いました。

空き家が発生する主たる原因は

町長 少子高齢化や人口減少、所有者の経済的な理由また、相続人が遠方に住んでいることが考えられる



なかにし ひでかず 中西 秀和

問 空き家の実態把握はどのようになっていくのか。

答 (町長) 平成30年度の空き家実態調査時点の台帳では、245軒が空き家と確認されている。その後、売却や除却により226軒に減っている。それ以降に増加した空き家については、把握できていないため、今後、空き家台帳の更新を行っていく。

問 令和2年度以降、対面形式での空き家対策協議会が開かれなかった理由と令和5年度の開催は。

答 (町長) 令和2年度までは空き家対策計画の策定や条例の制定など、協議する内容も多いため、対面形式で行っていたが、それ以降は行っていない。令和5年度は書面での開催を行った。

問 空き家所有者アンケートが行われた平成30年時点で10年以上経過した空き家が35軒となっている。現在の軒数とその状態である原因は。

答 (町長) 令和3年度に所有者において飛散落下防止措置を実施された。地元区からの倒壊を危惧する声を伝えているが、抜本的な解決には至っていない。引き

問 (建設課長) 現在は、2軒減少して33軒となっている。原因としては「所有者の死亡により相続をしたが、使えない」という理由が最も多く、他に「遠方に住んでいる」、「別荘がある」などの理由がある。

問 河村区の通学路に面した空き家は老朽化により危険な状態である。町としての対応は。

答 (町長) 令和3年度に所有者において飛散落下防止措置を実施された。地元区からの倒壊を危惧する声を伝えているが、抜本的な解決には至っていない。引き

続き所有者に適正管理を求めていく。



問 倒壊の可能性があるDランク空き家の現時点での戸数と今後の対処法は。

答 (建設課長) Dランクの空き家は平成30年時点では17軒であったが、その後、除却が行われて令和6年2月末で10軒となっている。今後の対処法は所有者に適正管理のお願いや空き家に関する各種制度の周知を行い、対策を働きかける。

問 Dランクの空き家で特定空き家に認定する建物はあるのか。

答 (建設課長) 現時点ではないが、今後特定空き家に認定される可能性があると考えている。

問 過去に緊急安全措置や立ち入り調査を行った事例はあるのか。

答 (建設課長) 緊急安全措置を講じた事例は2件で、立ち入り調査を行った事例はない。

問 空き家が発生する主たる原因はどこにあると考えているのか。

答 (町長) 少子高齢化や人口減少、所有者の経済的な理由、また空き家の相続人が遠方に住んでいることなどが考えられる。

問 空き家発生予防対策および今後の空き家対策の課題をどのように対応していくのか。

答 (町長) 予防措置は空き家にしないことが大切であり、所有者やその家族にそのための意識啓発を行っていく。また、空き家になった場合には、所有者に早期に意思決定を行っていただき、流通、活用させることが重要であると考えている。空き家は全国的にも重要な課題であり、個人の問題にとどまらず集落の問題でもあることから、除却や有効活用、適切な管理の推進を基本に問題解決に向けて取り組む。

特集①

特集②

審議内容

活動報告

アンケート結果

一般質問

追跡

乾式貯蔵施設設置計画事前了解願いへの対応は

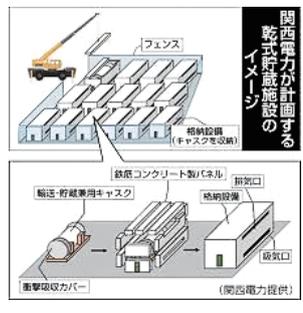
町長 さまざまな意見や、県、立地町の動向などを総合的に勘案し判断した



とおる 徹 辻 辻

問 事前了解願いが提出されたが、町の対応は。

答 (町長) 町としては、事業者が原子力規制委員会に原子炉設置変更許可申請を行うことへの了承判断、そして審査後における施設設置の事前了解の判断と2段階で対応する。
今後の了承の判断に向けては、2月の県議会をはじめ、県の原子力安全専門委員会や原子力環境安全管理協議会の議論、



※福井県知事は3月15日に乾式貯蔵申請を了承。

そして3月8日の本町議会原子力発電対策特別委員会での意見を踏まえ、町として総合的に勘案し判断する。
なお、その判断時期については、一定の環境が整いつつあることから、同じく当事者である福井県や立地町の動向も注視しながら適時適切に行う。

問 乾式貯蔵の安全性をどのように理解しているのか。

答 (町長) 従来から使用済み燃料対策の選択肢の一つとして、乾式貯蔵はより高い安全性の向上につながるものであるとの認識を持っている。シビアアクシデント対策を含めた個別具体的な安全性については、原子力規制委員会による詳細かつ厳格な審査を受けることによって確認されるものと考えている。

問 住民への理解が進んでいない。町の対応は。

答 (町長) 今の時点では、事業者の個別の対応、CATV番組

の放映などにより周知をさせていただいているが、それでも理解し難いというのは、住民目線の中での説明の方式なども今後、も同時並行的に取り組む必要がある。

問 災害時の避難所は、津波と原子力災害が複合的に発生した場合の想定は。

答 (町長) はまかせ交流センターは、町が作成した津波ハザードマップで示した津波高を上回る標高に位置しており、津波による浸水の影響を受けない施設となっている。しかしながら能登半島地震においては、多くの住宅の倒壊や避難道路が寸断されたことから、複合災害が発生した場合の避難が困難となる事態が想定された。このことを踏まえ、原子力規制委員会において

は屋内退避に係る避難の在り方を、内閣府において複合災害を想定した緊急時対応について検討を進めており、今後、新たな知見により避難計画などが見直しされることになれば、町として適切に対応する。



問 避難道における通信状況は

答 (防災安全課長) 原子力災害時の避

難ルートとなっている区間のほとんどがラジオや携帯電話などの受信が可能なエリアとなっている。一方で、各種通信電波が遮蔽されるトンネルなどにおいては、ラジオや携帯電話が利用できないケースもある。災害制圧道路の一部である新大島トンネルについて、道路管理者である県から事業主体となる移動通信整備協会に通信の改善事業の実施について確認をしたところ、交通量など事業採算性の観点から現時点では事業化が困難である旨の回答があった。

問 新大島トンネルでの早急な対策を。

答 (防災安全課長) 原子力災害制圧道路というところで、緊急時の通信機能というものは非常に重要であると認識をしており、国、県などに対し、要請をしていく。

特集①

特集②

審議内容

活動報告

アンケート結果

一般質問

追跡

本郷区内を流れる樋ノ口川、よばた川の 万全な浸水対策を

町長 平成28・29年度に策定した排水改善対策基本計画を、近年の豪雨状況等も踏まえ令和6年度に排水対策の修正を行う



さるはし けいいち
猿橋 啓一

問 2011年5月に当町で記録した、

県内観測史上最大の24時間雨量370ミリに耐える浸水対策が必要との観点から、新年度に予定されている、樋ノ口川、よばた川両河川の排水改善施設整備に伴う基本設計修正業務の概要を伺う。



樋ノ口川ゲート



よばた川ゲート

答 (町長) 樋ノ口川流域約7畝、よばた川流域約9畝を対象とした、排水改善対策基本計画の修正を行うものである。内容は、貯留施設候補地としている旧商工会館跡地の地質調査、降雨強度の見直し、それに伴う施設規模などの再検討や、雨水などが佐分利川へ直接排水されている本郷橋上流の左岸側の低地約1畝の排水対策の検討を、周辺住民の理解を得ながら進めて行く。

2011年5月に当町で記録した、県内観測史上最大の24時間雨量370ミリに耐える浸水対策が必要との観点から、新年度に予定されている、樋ノ口川、よばた川両河川の排水改善施設整備に伴う基本設計修正業務の概要を伺う。



旧商工会館跡地

問 浸水対策において、県道バイパス道路付近にある、二か所の農業用ゲートの管理も大切では。

答 (農林水産課長) 農業用水路であることから、耕作者などの協力による対応が必要であり、検討する。



給食センター付近水門



県道バイパス沿いの水門

問 新年度において、なぜ修正業務を予定しているのか。

答 (建設課長) 昨今の豪雨状況から、5年に一回程度発生する大雨を、10年に一回程度発生する大雨を想定した施設規模などに見直しするため。

問 想定される時間雨量は何ミリとなるのか。

答 (建設課長) 5年確率で計算した時間雨量は47ミリで、10年確率では56ミリとなる。

問 記録した、24時間雨量370ミリの時の時間雨量は56ミリとなる。

間最大雨量は。

答 (建設課長) 53ミリとなっている。

問 既存の排水用ポンプ、臨時の増設ポンプ、貯水槽の3つの方法により、排水対策を講じるのか。



臨時排水ポンプ



答 (建設課長) 計画雨量などを見直す中で、総合的に検討する。

問 雨水などが佐分利川へ直接排水されている、本郷橋上流の左岸側の低地、「直接放流区域」の対策は。



直接放流区域

答 (建設課長) 修正業務において、樋ノ口川流域、よばた川流域、それに直接放流区域の浸水対策を総合的に検討し、被害防止に努める。

問 本郷区内の浸水対策に対する町長の決意は。

答 (町長) 本郷区内の浸水被害軽減は、私の就任直後からの懸案であり、今般計上している業務の他に、水田を活用した「田んぼダム」の導入など、総合的に検討し、被害軽減対策に取り組んでいく。

複合災害から町民を守る体制を示せ

町長 迅速、確実な避難ができるよう、原子力規制委員会・内閣府の議論の過程を踏まえ、適切に対応していく



さるはし 猿橋 たくみ 巧

問 能登半島地震では道路網の脆弱性で住民が避難できなかつた。すみやかに避難の計画を示せ。

答 (町長) 国や県、関係機関と連携し複合災害を想定した原子力防災訓練の実施などにより、避難行動の実効性を高め、迅速、確実な避難ができるよう努める。

問 安定ヨウ素剤の住民配布をUPZおよび全町民に広げることが必要では。

答 (町長) 安定ヨウ素剤の配布に関する制度の広報を行うとともに、今後の原子力規制委員会などの議論を踏まえ、ワーキンググループにおいて適切に対応していく。

問 1月1日の地震と津波警報により多数の避難があつたが、その中でも高浜町の住民が多数見られた。これは想定外であり計画の見直しが必要では。

答 (町長) 津波などは、基本的には避難計画等に基づき各自自治体で完結するものとなつており、各自自治体の運用面での対策が必要である。今回のケースを教訓として、広域の中でどのような連携が必要となるか、今後検討していく。

問 冬季の避難対策では、寒さ対策とトイレ対策が重要であり、備蓄計画などの充実が必要では。

答 (防災安全課長) 寒さ対策として、毛布を備蓄し、トイレ対策については、蓄便袋や凝固剤、簡易洋式便座などが入った、避難所用簡易トイレを購入することとしている。



問 津波想定高の見直しで、町内海岸地帯の安全性の充実を図る必要がある。防波堤の高上げやテトラポット設置を提言する。

答 (副町長) 既存の海岸保全施設や、漁港施設などの機能保全に努め、維持補修などを行いながら、施設の長寿命化を図っていく。

町民の健康増進の充実を

問 予防対策として高額なため接種などが出来ない「带状疱疹ワクチン」や「PET検診」に対して、接種や予防検診費用助成を行うことを求める。

答 (すこやか健康課長) 「带状疱疹ワクチン」の接種については、現在、国において「定期接種化」への検討がされており、引き続き、国の

動向を注視しつつ、他の自治体の対応なども確認しながら、助成の可否について判断していく。「PET検診」は健康寿命を延ばすために個人の意思に基づくもので、国が推奨するがん検診でないことから、現時点においては、町による助成は考えていない。

ヤングケアラー支援は

問 「ヤングケアラーへの支援」体制は。町におけるヤングケアラーの実態について、現時点で該当する子どもはいないと考える。コーデイナーなどの配置については、子どもの虐待や貧困などの相談支援を含めた体制確保を検討する。

答 (すこやか健康課長) 町におけるヤングケアラーの実態について、現時点で該当する子どもはいないと考える。コーデイナーなどの配置については、子どもの虐待や貧困などの相談支援を含めた体制確保を検討する。

ジェンダー平等に向けた取り組み

問 ハラスメントに関する町職員などの実態調査や特別研修は進んでいるのか。

答 (総務課長) 平常時には特に実施をしていないが、日ごろから職員同士のコミュニケーションを図り、相談しやすい職場環境に努めている。研修に関しては、福井県自治研修所主催の市町村職員の研修を受講している。また、町独自のハラスメント研修も実施している。

問 「パートナーシップ制度」を町でも進めてみてはどうか。

答 (住民窓口課長) 性的マイノリティの方の日常生活上の困難や生きづらさを少しでも軽減するため、制度導入について検討する。

追跡

あれから どうなったの？

a follow-up survey

議会だよりでは、定例会議での一般質問の要旨を掲載しています。議員からの提案などがどのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。



なごみ診療所グループ ホーム休止後の活用は

休止するグループホームの部屋を、介護人材確保などの他の目的に活用しては。

(令和5年3月議会 原田 和美 議員)



ちょっと
深掘り!

なごみ診療所には、9床×2ユニットのグループホームがありました。1ユニットは開設当初から未使用で、1ユニットは入所者の重度化や介護職員の不足などで昨年度から休止となっていました。

令和6年度当初予算では

●1ユニットは、病児病後児デイケアの保育室として改修し、託児室や安静室、療養室として活用する計画です。



お子さんが風邪などの病気や回復期に、仕事の都合で育児ができない時に、お子さんを一時的にお預かりする病児・病後児保育をご利用いただけます

【開所時間】月～金 8:30～17:30

【利用料金】1日 2,000円 半日 1,000円

【事前登録】事前に「病児デイケア利用登録申請書」をすこやか健康課に提出ください

【事前予約】ご利用には事前予約が必要です

お問い合わせは

すこやか健康課 77-1155

なごみ診療所 77-2753

●1ユニットは、今後の介護人材を確保するために、介護職員の宿舎に改修する計画となっています。

町長答弁

指定管理者や関係機関の 意見を聴き検討を行う

介護人材の不足解消に繋がることも選択肢のひとつとして、施設の有効活用を検討する。

どうなった？

病児病後児保育室整備 と、介護職員宿舎への 改修を予算化

令和6年度当初予算において、1ユニットを病児保育室に、1ユニットを外国人介護士の宿舎へ改修を計画。



かがや 輝く人

名田庄中学校 2年生

2月27日に中学生議会を開催しました。

今回は、「町の活性化」を提案してくれた中学生を、将来の町を担う輝く人として、議会発表後の感想を紹介します。

作成したチラシを改良し、たくさんの人にわたるようにしたい。

発表ではしっかり伝えられた。アドバイスされたことを、様々な方法で試したい。

この学習で、名田庄の魅力や課題が分かりました。

名田庄をどうすればPRできるのか、難しかった。

旧あきない館跡地に、バスケットコートを設置するのが目標です。



自然薯ドーナツを給食で食べたりしたい。

グラフを用いて、分かりやすい資料作りに頑張った。

自然薯ドーナツの調理実習風景をもっと詳しく報告したほうがよかった。

試作したドーナツに対してのアドバイスを、総合的な学習のなかで活かしたい。

ドーナツを学校内で販売してみたい。

アドバイスされた名田庄に行ってみようやハツシユタグの活用を考えたい。

発表原稿の作成に、皆で取組みましたが、質問に対する回答がうまくできなかった。

ドーナツのパッケージや商品名などを考えていきたい。

映えスポット、お年寄りにも人気があるものを作る。

来てもらって、また来たいと思われるスポットを作る。

発表は緊張したけれど、理解してもらってよかった。



おおい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。次回の定例会議は6月です。傍聴については議会事務局（77-4060）までお問い合わせください。

6月
定例会議の
予定

会 期：6月6日から6月21日まで（16日間）
本会議：6月6日（議案提案理由説明）、6月18日（一般質問）、6月21日（採決）
委員会：予算決算常任委員会（6月6日）、総務・産業建設常任委員会（6月7日）
原子力発電対策特別委員会（6月11日）

編集後記

議会広報活動も、わからないことばかりで、先輩議員のご指導を仰ぎながら、早1年が経過いたしました。この間、おおい町においても多くの諸問題が生じました。

特に、今回の能登半島地震における津波警報には多くの住民が避難行動に戸惑ったようです。議会といたしましても、住民が安全で安心した避難行動ができるよう、再度避難計画を検証しなければなりません。

また、原発事故による複合災害も考慮した避難所の指定等の見直しも含めて討議していかなければなりません。

北陸新幹線が敦賀まで開通し、新幹線のようなスピーディな政策も必要かと思われまます。今後とも町民にわかりやすい広報活動に努めてまいります。

（高本記）

広報特別委員会

委員長	原田 和美
副委員長	屋敷 浩道
委員	堤 満也
〃	中西 秀和
〃	高本 和良
〃	寺井 義孝